



## 平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月7日

上場会社名 小池酸素工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6137 URL http://www.koike-japan.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池 康洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長兼管理部長 (氏名) 富岡 恭三 TEL 03-3624-3111  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	9,710	△5.6	168	△45.1	288	△30.6	147	△37.5
29年3月期第1四半期	10,281	△3.1	305	△16.1	415	79.4	236	102.7

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 112百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △366百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	3.56	—
29年3月期第1四半期	5.70	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	52,881	30,133	53.2	679.20
29年3月期	53,899	30,417	52.7	686.27

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 28,112百万円 29年3月期 28,404百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	9.00	9.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

29年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 7円00銭 特別配当 2円00銭

※ 当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株を1株の割合で株式併合を実施する予定であるため、平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,600	0.1	600	△0.4	700	△17.6	400	19.9	9.66
通期	43,000	0.8	1,700	11.8	1,900	2.5	1,300	2.5	314.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 平成30年3月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	45,229,332株	29年3月期	45,229,332株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	3,839,445株	29年3月期	3,839,225株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	41,389,942株	29年3月期1Q	41,393,049株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は、平成29年6月28日開催の第94期定時株主総会において、平成29年10月1日を効力発生日とする当社普通株式10株につき1株の割合で株式併合することが承認可決されました。なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下の通りとなります。

- (1) 平成30年3月期の配当予想 1株当たり配当金 期末 7円00銭
- (2) 平成30年3月期の連結業績予想 1株当たり当期純利益 通期 31円41銭

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、中国経済には総じて持ち直しの動きが見られたものの、英国の欧州連合(EU)離脱問題や米国新政権の政策運営に関する不確実性などの影響が懸念され、先行きは不透明な状況が続きました。

一方、わが国経済は、雇用情勢の改善や個人消費に持ち直しの動きがありましたが、世界経済の先行き懸念により、景気の回復は一部に遅れが見られました。

当社グループの主需要先である建設業界・産業機械業界では一部に需要回復の動きが見られましたが、造船業界では世界的な市況の低迷が続き、厳しい状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは世界市場に向けた新技術・新製品の開発、また、収益確保を目指した原価低減、経営の効率化に取り組んでまいりました。また、4月から「グランド100トライアスロンセール」を開始し、拡販活動に努めてまいりましたが、その効果は限定的なものとなりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は97億10百万円(前年同期比5.6%減)、営業利益は1億68百万円(同45.1%減)、経常利益は2億88百万円(同30.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億47百万円(同37.5%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

**機械装置**

機械装置部門においては、当社グループの主需要先である造船業界の世界的な市況の低迷が続いたことにより、国内外ともに売上高および収益が減少しました。

その結果、売上高は34億61百万円(前年同期比21.9%減)、セグメント利益は1億46百万円(同40.7%減)となりました。

**高圧ガス**

高圧ガス部門においては、鉄工・建機関連の需要が復調するなか、ガス・溶接・切断の一体販売を強化したことにより、売上高は堅調に推移しました。しかしながら、販売人員強化による人件費や老朽化した容器の更新費用が増加したことにより、収益は減少しました。

その結果、売上高は38億6百万円(前年同期比1.6%増)、セグメント利益は1億68百万円(同18.7%減)となりました。

**溶接機材**

溶接機材部門においては、4月から開始した「グランド100トライアスロンセール」の実施により、溶接材料・溶接機・安全器の売上高が増加しました。

その結果、売上高は23億22百万円(前年同期比16.3%増)、セグメント利益は81百万円(同101.2%増)となりました。

**その他**

その他の部門においては、排ガス処理装置に関する中国・台湾での大型液晶画面向けの需要回復やヘリウム関連機器の受注が確保できたことにより、売上高および収益が増加しました。

その結果、売上高は1億19百万円(前年同期比12.7%増)、セグメント利益は12百万円(前年同期はセグメント利益0百万円)となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は528億81百万円で、前連結会計年度末比10億17百万円の減少となりました。

流動資産合計は297億23百万円で、前連結会計年度末比11億15百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金が6億22百万円減少、受取手形及び売掛金が7億34百万円減少したことによるものです。

固定資産合計は231億58百万円で、前連結会計年度末比97百万円の増加となりました。これは主に建設仮勘定が1億円増加したことによるものです。

（負債）

流動負債合計は175億20百万円で、前連結会計年度末比5億71百万円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金が3億64百万円減少、電子記録債務が2億46百万円減少したことによるものです。

固定負債合計は52億27百万円で、前連結会計年度末比1億62百万円の減少となりました。これは主に長期借入金が1億46百万円減少したことによるものです。

（純資産）

純資産合計は301億33百万円で、前連結会計年度末比2億83百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金が2億24百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は53.2%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月12日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。詳細につきましては、「平成29年3月期決算短信」4ページ1. 経営成績等の概況（4）今後の見通しを参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,067	9,445
受取手形及び売掛金	13,162	12,427
商品及び製品	4,241	4,272
仕掛品	1,245	1,397
原材料及び貯蔵品	1,380	1,319
その他	946	1,042
貸倒引当金	△205	△181
流動資産合計	30,838	29,723
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,516	4,428
機械装置及び運搬具(純額)	1,296	1,203
工具、器具及び備品(純額)	321	370
土地	9,445	9,440
リース資産(純額)	1,151	1,151
建設仮勘定	33	134
有形固定資産合計	16,764	16,730
無形固定資産		
のれん	38	34
リース資産	13	12
その他	230	221
無形固定資産合計	282	268
投資その他の資産	6,013	6,159
固定資産合計	23,060	23,158
資産合計	53,899	52,881

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,709	6,345
電子記録債務	3,490	3,244
短期借入金	4,019	3,837
1年内返済予定の長期借入金	619	611
未払法人税等	301	168
賞与引当金	406	486
役員賞与引当金	79	15
受注損失引当金	30	28
製品保証引当金	51	46
その他	2,383	2,736
流動負債合計	18,091	17,520
固定負債		
長期借入金	623	476
役員退職慰労引当金	177	180
退職給付に係る負債	156	163
資産除去債務	14	14
その他	4,417	4,392
固定負債合計	5,390	5,227
負債合計	23,482	22,747
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,028	4,028
資本剰余金	2,354	2,354
利益剰余金	19,928	19,703
自己株式	△918	△918
株主資本合計	25,392	25,167
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,469	1,557
土地再評価差額金	868	868
為替換算調整勘定	491	339
退職給付に係る調整累計額	183	178
その他の包括利益累計額合計	3,012	2,944
非支配株主持分	2,012	2,021
純資産合計	30,417	30,133
負債純資産合計	53,899	52,881

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	10,281	9,710
売上原価	7,487	6,970
売上総利益	2,794	2,739
販売費及び一般管理費	2,488	2,571
営業利益	305	168
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	37	41
受取賃貸料	39	45
持分法による投資利益	6	8
物品売却益	5	8
為替差益	9	33
貸倒引当金戻入額	40	23
その他	14	4
営業外収益合計	157	167
営業外費用		
支払利息	25	22
賃貸費用	12	8
その他	8	16
営業外費用合計	47	47
経常利益	415	288
特別利益		
固定資産売却益	15	1
その他	—	1
特別利益合計	15	2
特別損失		
固定資産除売却損	1	0
減損損失	—	0
その他	0	0
特別損失合計	1	1
税金等調整前四半期純利益	430	290
法人税、住民税及び事業税	92	133
法人税等調整額	65	△13
法人税等合計	158	119
四半期純利益	272	171
非支配株主に帰属する四半期純利益	36	23
親会社株主に帰属する四半期純利益	236	147

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	272	171
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△186	94
繰延ヘッジ損益	2	—
為替換算調整勘定	△451	△148
退職給付に係る調整額	△2	△4
その他の包括利益合計	△638	△58
四半期包括利益	△366	112
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△365	79
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	33

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	4,431	3,747	1,997	10,176	105	10,281	—	10,281
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,431	3,747	1,997	10,176	105	10,281	—	10,281
セグメント利益	247	207	40	495	0	496	△190	305

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△190百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△265百万円、たな卸資産の調整額43百万円及びその他の調整額31百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,461	3,806	2,322	9,590	119	9,710	—	9,710
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,461	3,806	2,322	9,590	119	9,710	—	9,710
セグメント利益	146	168	81	397	12	409	△241	168

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△241百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△288百万円、たな卸資産の調整額18百万円及びその他の調整額27百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	2,842	75.0
高压ガス (百万円)	87	89.3
報告セグメント計 (百万円)	2,930	75.3
その他 (百万円)	—	—
合計 (百万円)	2,930	75.3

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。  
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注状況

当第1四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
機械装置	2,507	76.5	3,086	64.0

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。  
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。  
3. 受注高及び受注残高につきましては、標準機・部品等の金額を含めておりません。

## (3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	3,461	78.1
高压ガス (百万円)	3,806	101.6
溶接機材 (百万円)	2,322	116.3
報告セグメント計 (百万円)	9,590	94.2
その他 (百万円)	119	112.7
合計 (百万円)	9,710	94.4

- (注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。